

東光高岳 デジタルトランスフォーメーション戦略 (TKTK-DX)

2025年6月



1. 東光高岳のビジョン（目指す姿）

2. DX戦略

- ビジョンの実現に向けた基本戦略
- DX戦略の全体像
- ビジネスプロセスの変革
- 新分野の開拓
- 生産性向上・業務効率化
- 情報セキュリティ
- 文化
- 人財
- 管理
- DX推進体制

1. 東光高岳のビジョン（目指す姿）



未来のエネルギーネットワークをデザインする“SERAカンパニー”へ！

私たちは、二つの使命を果たしつつ、“SERAカンパニー”への飛躍を目指します！

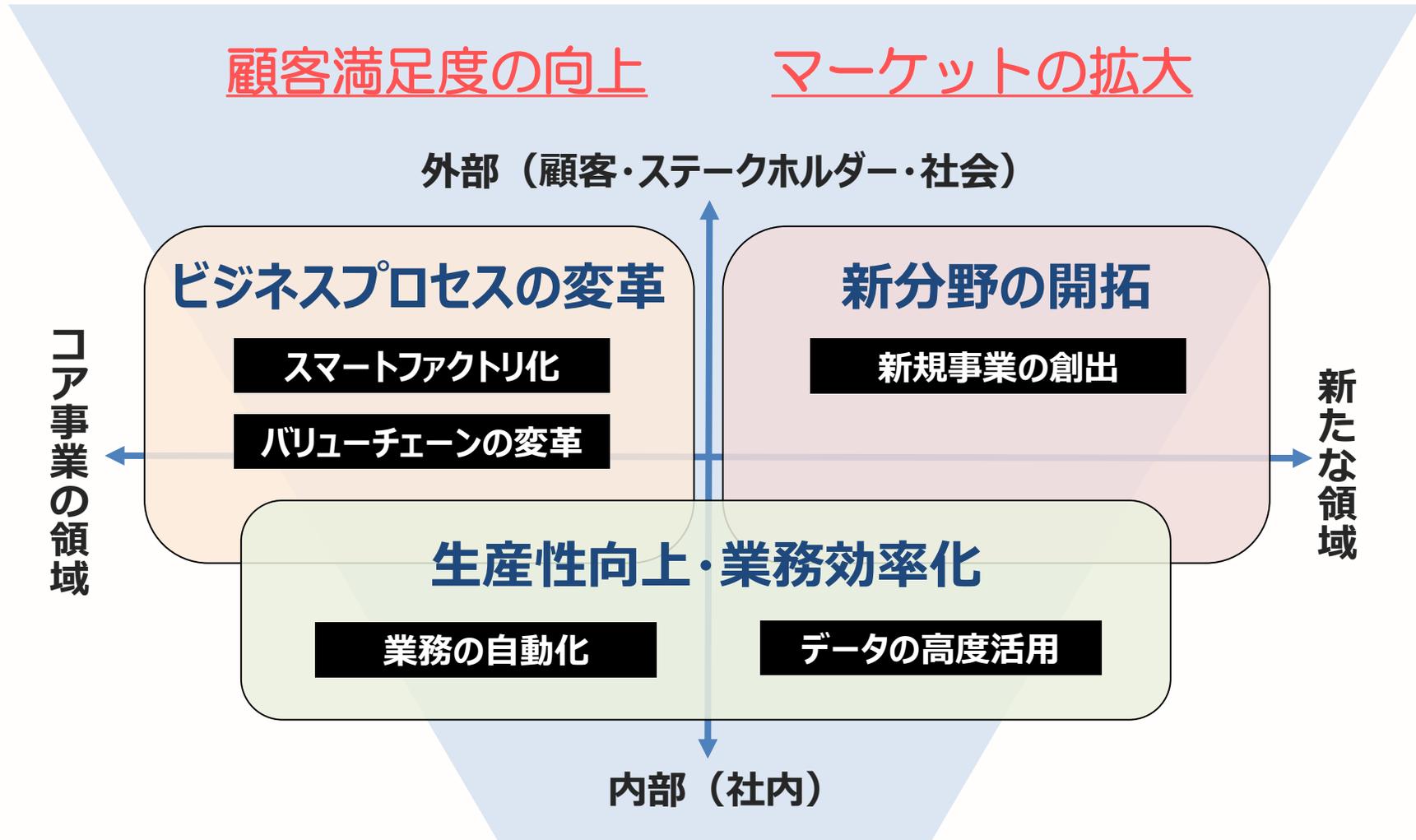
- 変わらぬ使命** : 電力の安定供給や高度利用を支え、**安全で豊かな暮らしや社会・経済活動の発展に貢献する**
- 新たな使命** : カーボンニュートラル、レジリエンス強化等の新たな社会的課題へのソリューションを創造し、**サステナブル社会に貢献する**

SERAには、本来の「未来の存在」という意味に加え、「シームレス（S）にエネルギー（E）をつなぎ（R）活性化させ（A）未来のエネルギーネットワークをデザインする存在でありたい」という想いを込めています。

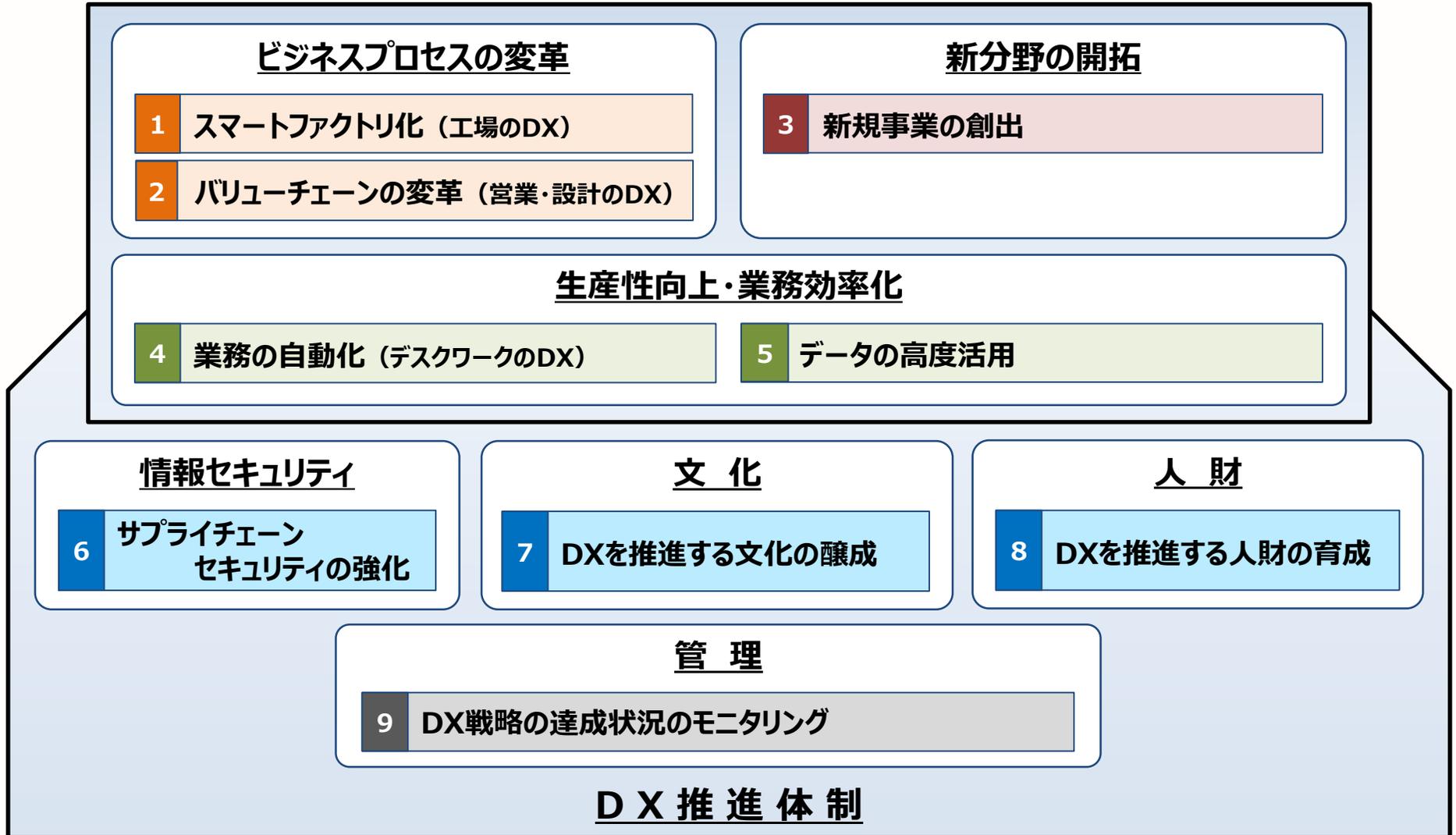
私たちは、電力ネットワークをトータルにサポートする機器やソリューションの開発提供力の深化・進化と、最新のデータ&デジタル技術との融合により、未来のエネルギーネットワークと人々の暮らしとサステナブル社会とをシームレスにつなぐ存在となります。



■ ビジョンの実現に向けた基本戦略



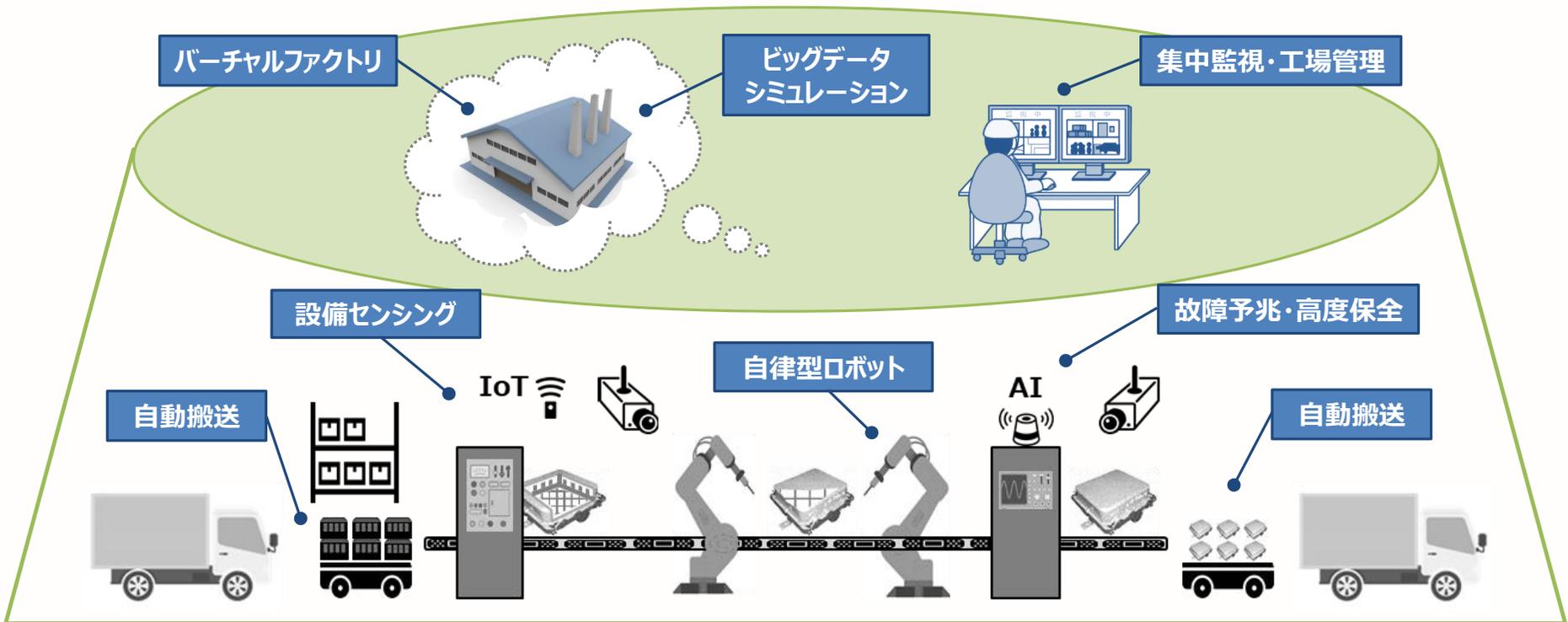
■ DX戦略の全体像



■ ビジネスプロセスの変革

1 スマートファクトリ化（工場のDX）

工場での作業や搬送等の自動化、設備や製造工程の見える化、データ収集・分析による製造プロセスの効率化といった生産性や品質を向上させるスマートファクトリを構築し、工場を変革します。



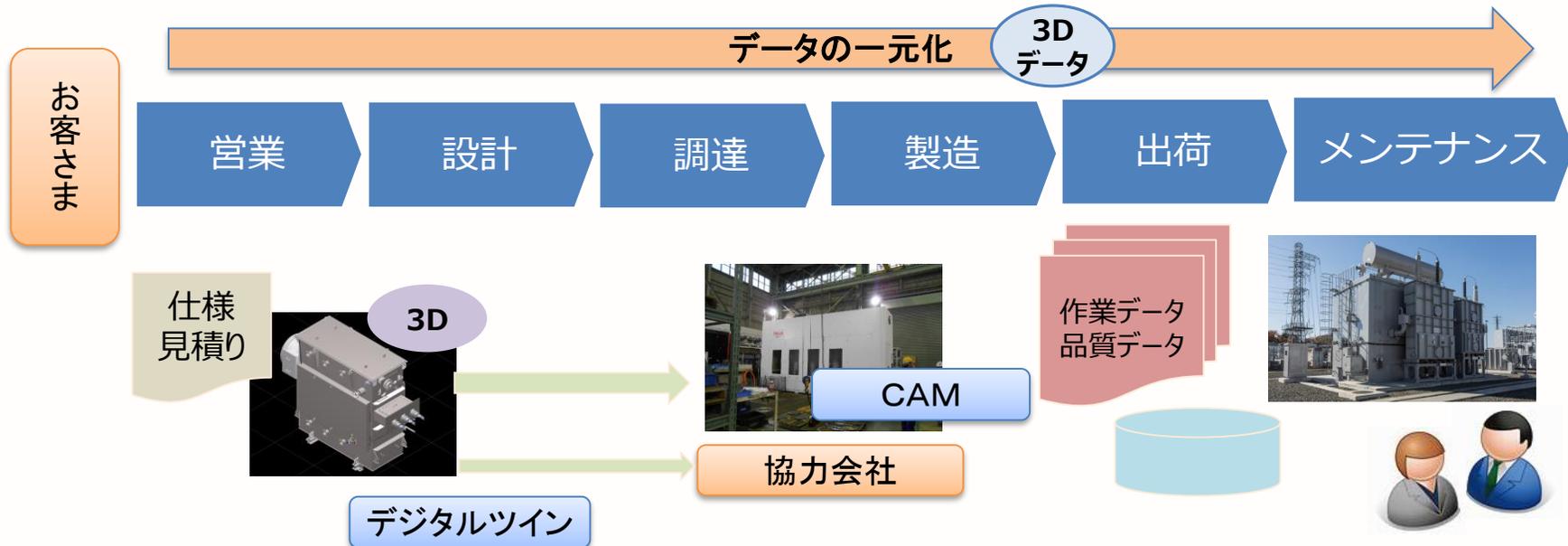
■ ビジネスプロセスの変革

2 バリューチェーンの変革（営業・設計のDX）

バリューチェーン全体でデジタル化を行い、営業から設計、調達、製造、出荷、メンテナンスまでデータ連携を実現し、営業・設計等のシステムを変革します。

デジタル化によるバリューチェーンの変革

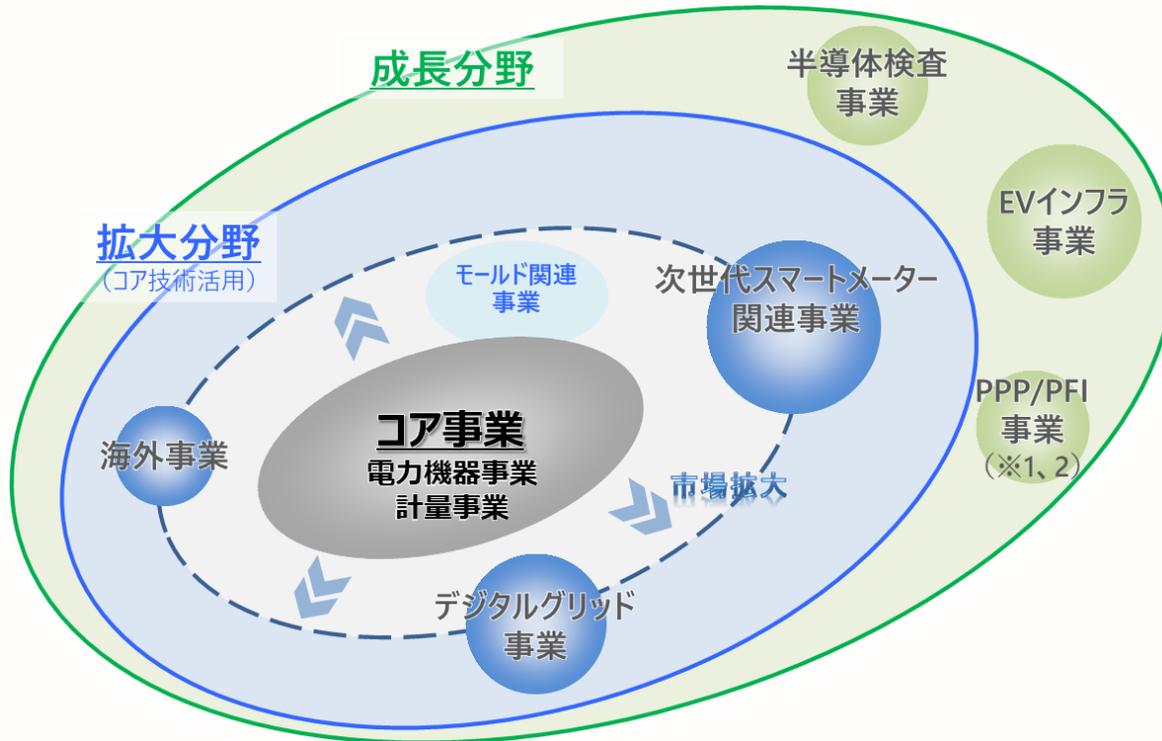
営業から設計、調達、製造、出荷、メンテナンスまでデータの一元化、データ連携を実現



■ 新分野の開拓

3 新規事業の創出

データ&デジタル技術を活用してイノベーションを起こし、お客さまのエネルギー利用の高度化・多様化とサステナブル社会に貢献する新たな事業を創出します。



(※1)

Public Private Partnership の略称。
 公民連携により、民間の多種多様なノウハウ・技術を活用して行政サービスの向上や財政資金の効率的な使用などを図る概念。

(※2)

Private Finance Initiative の略称。
 公共施設の建設や維持管理・運営等を、民間の資金や経営能力・技術的能力を活用して行う手法。

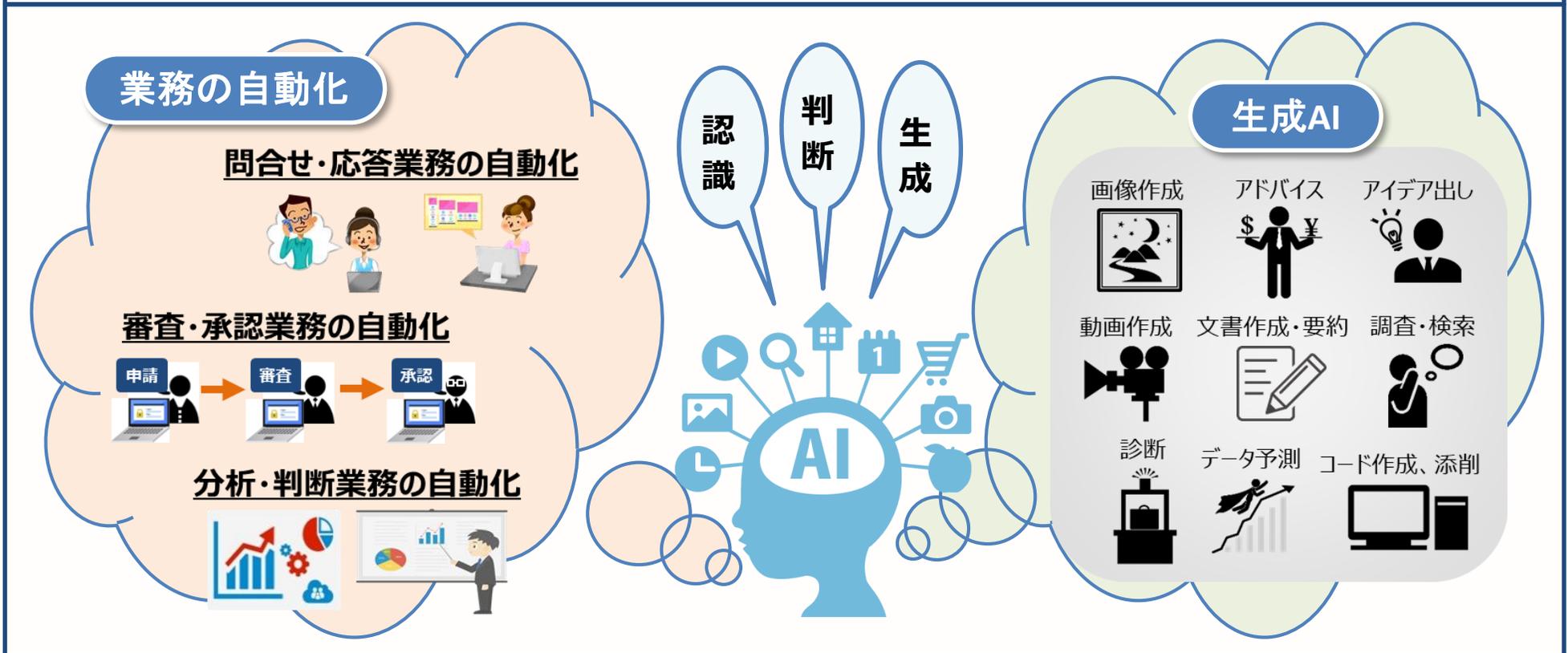
	連結売上高		
	2024実績	2027計画	2030目標
コア事業	800億円	810億円	980億円
拡大分野	210億円	280億円	360億円
成長分野	50億円	110億円	160億円

東光高岳グループ 2027中期経営計画（2025年4月25日）より

■ 生産性向上・業務効率化

4 業務の自動化（デスクワークのDX）

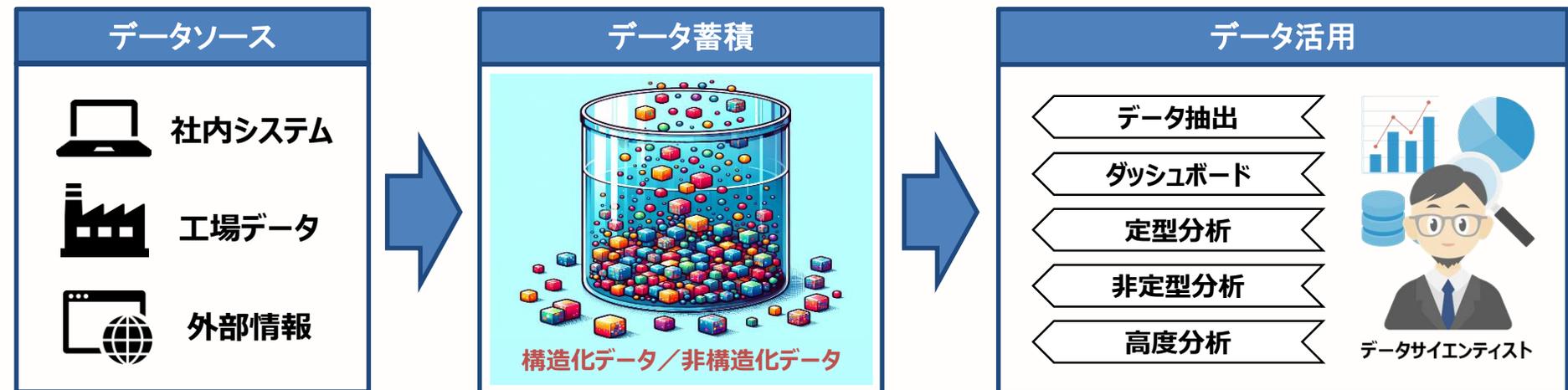
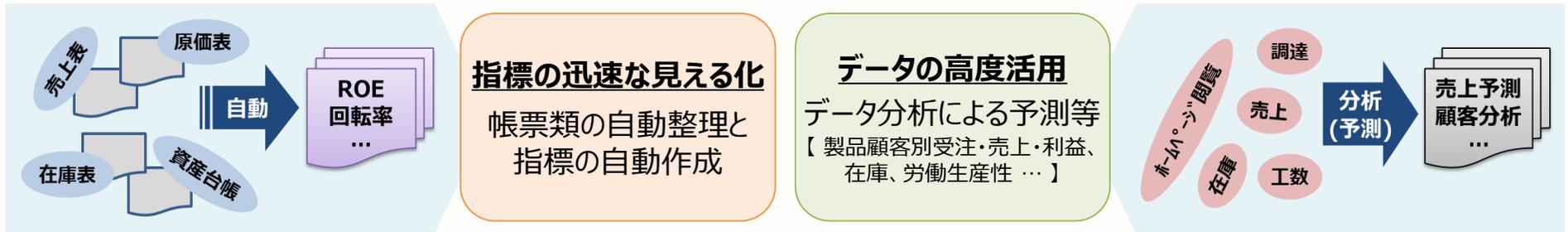
デジタル技術を活用し業務の自動化を実現します。また、生成AIを積極的に活用し、より高度な判断・認識が必要な業務領域への適用を拡大します。



■ 生産性向上・業務効率化

5 データの高度活用

経営判断に寄与する各種指標を迅速に見える化すると共に、データサイエンティストの育成を含めデータを活用できる環境を整え、データ分析による予測等、データの高度活用を実現します。

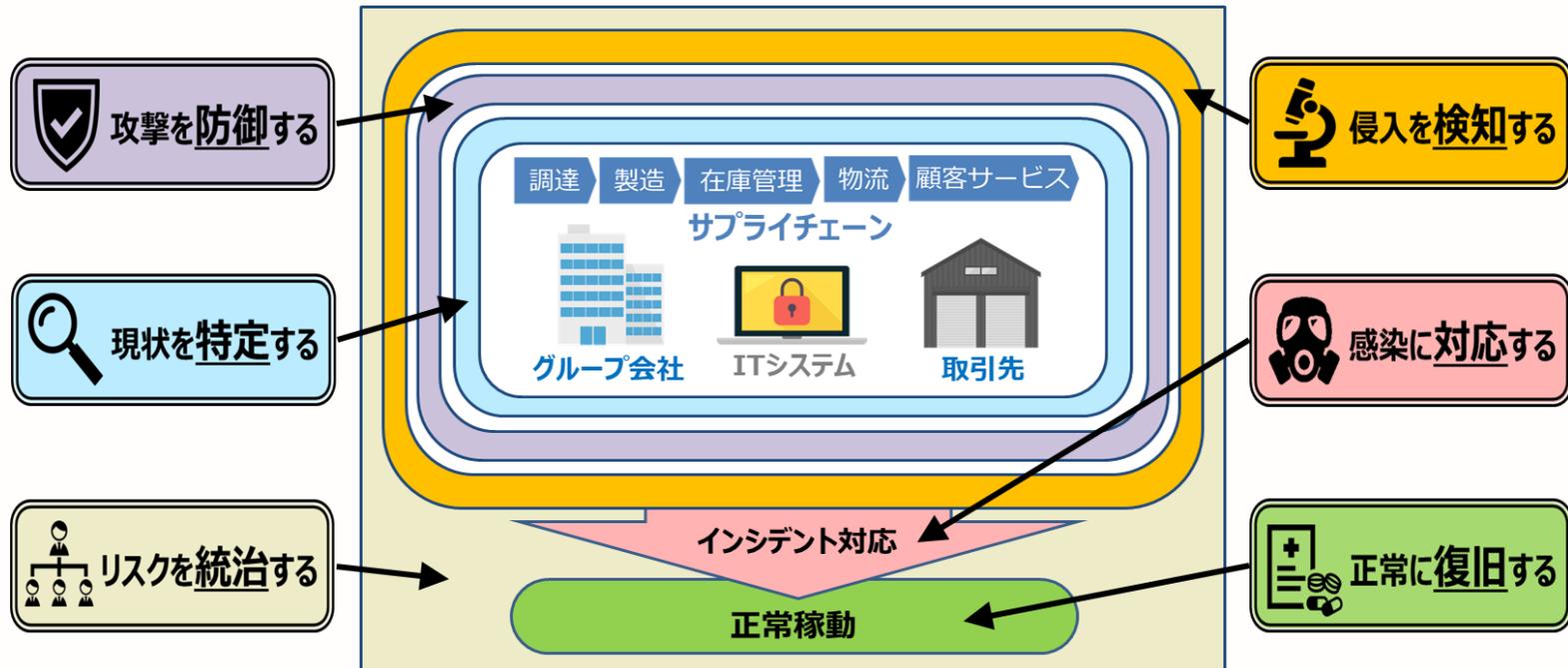


■ 情報セキュリティ

6 サプライチェーンセキュリティの強化

高度化・多様化するサイバー攻撃からの防御、情報漏洩の防止、ITシステムの安定稼働等の観点から、サプライチェーン全体のセキュリティを強化します。また、製品のセキュリティ体制（PSIRT）についても、さらに高度なレベルまで強化していきます。

侵入を前提としたセキュリティ対策「6つの機能」



■ 文化

7 DXを推進する文化の醸成

DXを推進する意識改革と行動変容に合致した「東光高岳クレド」を実践します。

DX推進に求められる マインド

倫理

人として当たり前正しいと思うことをする。

挑戦

「現状を変えたい欲求」を持つ。

巻き込み

相手の意見を聞き、周囲を巻き込む。

課題発見

解決すべき課題を洗い出し、仮説を立て、デジタル技術で解決する。

「東光高岳クレド」は、パーパスのもとでビジョンの実現に向けて、一人ひとりにおける共通の信条・価値観であり、考動する際の拠り所として示したものの。

Do the right things right

安全・品質・コンプライアンスを最優先に、お客さまのために・社会のために・そして私たちの明日のために「人として正しいことを、正しく行う」。これを全ての考動の拠り所としよう。

コミュニケーション + チェンジ × チャレンジ

日々の仕事において、コミュニケーションをとること、そして変革へ挑戦し続けることが大切です。仕事の質を高め、新たな価値を生み出すために、タテヨコナメ・組織内外で積極的に連携し、カイゼン・変革に挑み続けよう。

圧倒的当事者意識

一人ひとりが主役として、自らの仕事の目的・役割・責任を自覚しよう。プロフェッショナルとして圧倒的な当事者意識を持とう。

三現を見る × 外を見る × 先を見る

仕事の現場、そこにあるもの、そこで起こっていることの「三現」を常に把握しよう。そのうえで、学びの姿勢を持って、会社の外にある市場やお客さまのニーズ、競合他社に目を向け、先に起きるその変化を見据えよう。

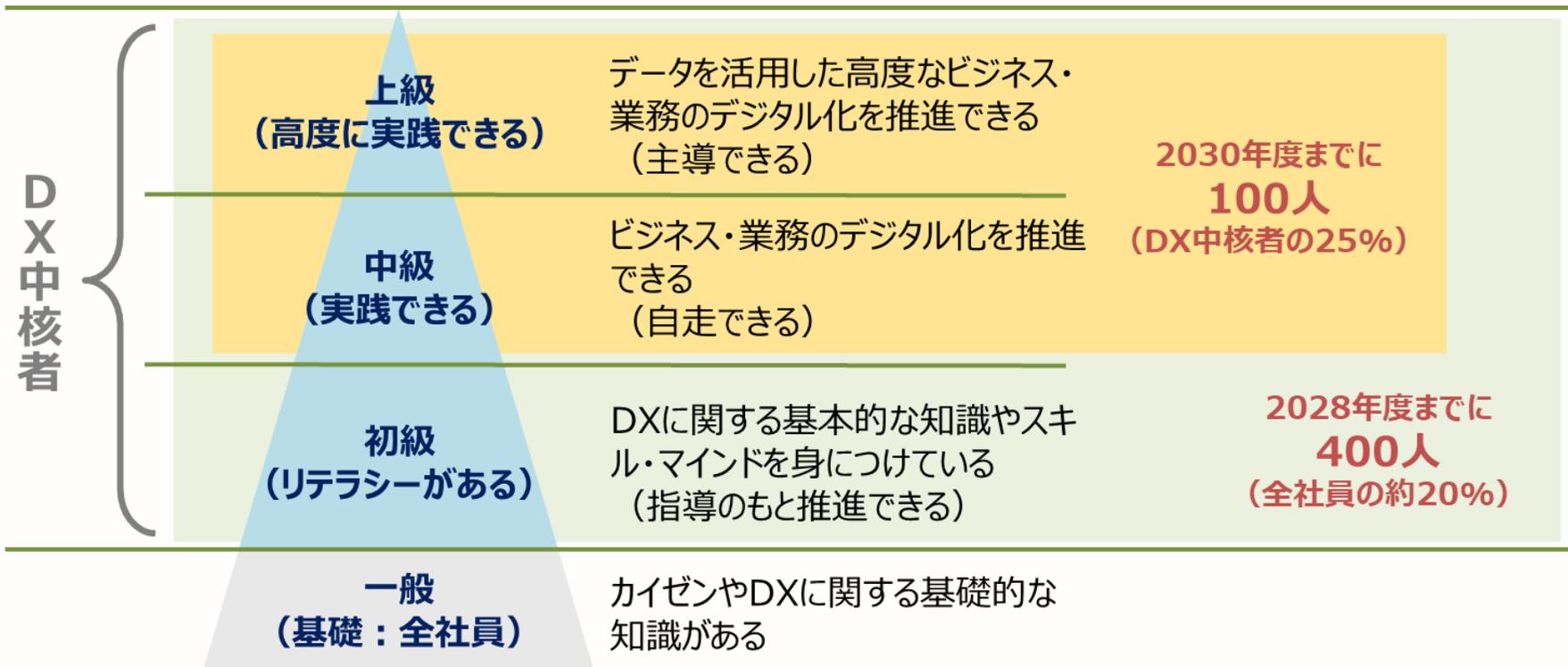
本質を突き詰める

目の前の仕事や課題の上っ面に惑わされず、その背景にある根拠や真因を探求し、なぜ？なぜ？なぜ？を繰り返すことでモノゴトの本質を見極めよう。

■ 人財

8 DXを推進する人財の育成

データ&デジタル技術を活用してどのようなことができるかを理解し、ビジネス・業務を変革する人財を育成します。



■ 管理

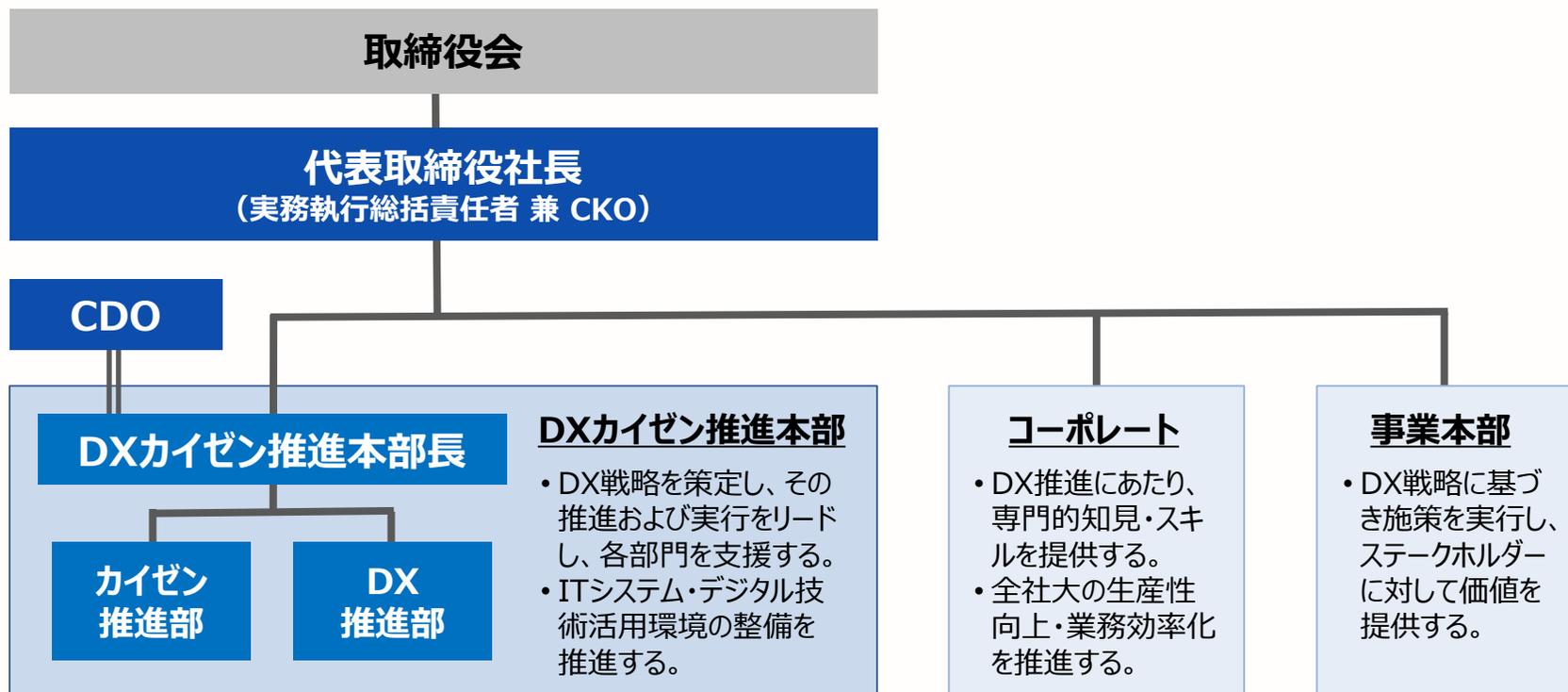
9 DX戦略の達成状況のモニタリング

企業価値創造の結果である「中期経営計画」の指標を評価すると共に、「ビジネスプロセスの変革」「新分野の開拓」「生産性向上・業務効率化」の指標をモニタリングします。

	指 標
ビジネスプロセスの変革	検査・製造のデジタル化（チェックシートの電子化率）
	スマートファクトリの構築（製造・検査の自動化ライン数）
	自動見積りの活用（自動見積り適用網羅率）
	個別設計の自動化（自動設計適用製品数）
	3Dデータ活用（3D CAD出図率）
新分野の開拓	新規事業の売上高
生産性向上・業務効率化	業務の自動化（デスクワークの自動化数）
	生成AIの活用（生成AI利用率）
	データ分析（分析件数、付加価値創出数）

■ DX推進体制

代表取締役社長を実務執行総括責任者^{※1} 兼 CKO^{※2}として配置し、CDO^{※3}であるDXカイゼン推進本部長がDX推進および実行をリードする体制を構築しています。



※1 「情報処理の促進に関する法律施行規則及び中小企業信用保険法施行規則の一部を改正する省令」（経済産業省令第四十八号）において定める、戦略の推進等の実務の執行を統括する責任者を指す。

※2 Chief Kaizen Officer の略で、最高カイゼン責任者を指す。当社においては、CDXO（Chief Digital Transformation Officer：最高デジタル・トランスフォーメーション責任者）に相当する。

※3 Chief Digital Officerの略で、最高デジタル責任者を指す。



将来予想に関する注意事項

本資料の将来計画の数値につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる可能性があります。

